

回会報

新日本美術協会

事務局

千葉県柏市大津ヶ丘

3-17-17-401

森屋治三方

TEL 04-7191-6760

編集委員

本部 小高峯夫

富岡ネム

大石 亨

京都 四方公子

広島 藤原清二

お待たせしました

森屋治三

さあ、いよいよ東京都美術館での開催です。芸術の秋、素晴らしい会場での「新日美展」。創造性豊かな想いを存分に発表されることを期待します。

昨年及び一昨年の第三十四回、三十五回展は「上野の森美術館」という恵まれた環境・会場での開催でしたが、搬入出場所の変更、作品サイズ制限、特別出品料等々：皆さんには大きな負担をおかけしました。展覧会はいずれも盛会裡に終る事が出来ましたが、ひとえに皆さんの熱意とご協力のお陰と事務局一同お礼申し上げます。

新日美にとつて、さらなる躍進の年となるよう頑張ります。

会期：平成二十四年十月四日(木)～十一日(木)

搬入日：平成二十四年九月二十七日(木)・二十八日(金)

搬出日：平成二十四年十月十二日(金)

搬入出場所：東京都美術館

表彰式及び懇親会：平成二十四年十月六日(土) 上野精養軒

巡回展開催

平成二十五年三月中旬予定

受賞作品及び選抜作品による巡回展を開催します。

会場 京都歴史博物館



文部科学大臣賞
児玉八千穂
「緑 風」

庭の緑の木々越しにそよ風が吹いて、暖簾をかすかにゆらしている。その暖簾に二匹の猫が戯れている。何とも長閑で微笑ましい情景だが、何よりも二匹の猫の表情が豊かで素晴らしい。素直な観察眼と描写が誰もの心に爽やかさを運んでくる。



東京都知事賞
河野みち子
「人々に残るものは」

三・一一(東日本大震災)をモチーフにする作品が何点あった中で、受賞作は、構成・色彩的に単純化を図ることでインパクトを高め、内面的に深さを生み出している。生々しい傷跡の中、じつと耐えて立ちあがろうとする思いが立ち上ってくる。今に生き、今を描く画家の意思が強く感じられる。

35 回展最高賞作品

寸評 中野 中先生



新日美大賞
山田静子
「水の音」



新日美大賞
今井孝子(工芸)
歎びの奏(うた)



東京都議会議長賞
石川重利(工芸)
「松煤竹造船型盛器」



東京都議会議長賞
早田美智子
「秋 景」

35 回記念展のDVDを希望者に頒布します

全作品収録、BGM付きで画像が自動送りされます。静止画も見られます。撮影は張京浩委員、DVD 編集は事業部土屋政夫委員です。35 回記念展の記録用として作成したもので、プロによるものではありません。ご承知下さい。パソコンをお持ちの方はもちろん、DVD再生機能のあるテレビであれば見る事が出来ます。

申し込み方法:

ハガキ、又は電話、FAXで4月15日までに事務局(森屋)へ申し込み下さい。発送は5月。代金払い込み方法等詳細は同封の「事務局からのお知らせ」を参照してください。

価額1枚:1000 円



三十五回記念展 昇格者及び入会者

【絵画】

会員 青山絹江、石澤喜久代、岡田好美、岡林邦彦、斎藤敏子、武部起彦、中本恒久、増田綱紀、山田静子、倉持政江、小林徳高

准会員 上原芳信、大石 彰、丹木キヌ子、戸川昌子、深澤悌佑、堀江征矢子

掘越勝博、神田紀和

会友 中込 誠、花待昭文、井上貴絵

絹井博康、中村佳恵、半谷昭一、高岩正男、中村政之、長谷川義樹、宮野真由美、中村礼子、酒井榮子、吉澤久子

【工芸】

会員 今井孝子、保田昌子

准会員 青木壽美、岡嶋宣昭、菊池焼子、富岡多美

会友 原 正吾、鈴木 聡、小山七郎、倉田遼一